

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	平成28年度第2回中津川市博物館等協議会
開催日時	平成29年2月24日（金）15時～16時30分
開催場所	中津川市鉦物博物館 研修室
出席者の役職名	委員9名 教育長・文化スポーツ部長・次長・鉦物博物館長・苗木遠山史料館長・子ども科学館長・中山道歴史資料館長・東山魁夷心の旅路館長・鉦物博物館館長補佐・鉦物博物館館長補佐兼学芸員・文化振興課学芸員3名
話し合われた内容 （会議録又は 審議概要）	<p>1 協議会長あいさつ</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>・会議の成立について</p> <p>【司会】 中津川市教育委員会附属機関設置等に関する条例施行規則第4条により会議は委員の過半数の出席により成立することから、過半数以上の委員の出席によりこの会議は成立していることを報告いたします。</p> <p>・協議会の公開について</p> <p>【会長】 本協議会は公開を前提としています。今後は公開ということでしょうか。</p> <p>【委員】 異議なし</p> <p>【会長】 それでは公開ということでしょうかお願いします。</p> <p>3 報告・協議事項等</p> <p>（1）平成28年度各館の現状 各館長より説明</p> <p>（2）平成29年度文化スポーツ部の方針と重点（案） 部長及び各館長より説明</p> <p>（3）平成29年度各館の事業計画（案） 各館長より説明</p> <p>【質疑】</p> <p>会長 ありがとうございました。ただいま説明がありました、平成28年度の全館合同事業並びに、各館の状況についてご意見やご質問等がありませんでしょうか。よろしくお願いします。</p> <p>委員 学校のほうの立場からとしまして、それぞれ校長会での評価が、出前講座が大変ありがたかったということで、高い評価がありました。特に中山道歴史資</p>

料館安藤館長、心の旅路館の学芸員の方あるいは指導者の方来て頂いて、子どもたちに丁寧にやっていただいた。ということは大変良かったということです。今、学校のほうの現場の状況ですと、時間数が週の中でいっぱいいっぱい、さらにここにまた将来、時間数は増えずに英語を入れてこようという、こういう情勢でございまして、なかなか現実的に外へ出て行くのが難しい状況となっています。外へ行くというのではなくて、来て頂いてそれをこうして参加の人数に加えていただけるということは、大変ありがたいことだと思いますので、きっと館の運営のほうは大変だと思いますが、各館でまた、ご努力いただきまして、ぜひ出前講座の充実を図っていただきますようお願いいたします。

会長

ありがとうございました。自分も学校に勤めていた立場から、学校へ出前授業のようなかたちでね、今のご意見のように来て頂けるとほんとにありがたいと思うところですが、このことに係ってでも結構ですし、そのほかのことでもいいですので、ご意見をいただければありがたいです。

委員

よろしいですか。出前講座ということですと、かなりマンパワーの点で、人が出て行かなきゃならない、その館の運営もやらなきゃいけないし、学校へも行かなきゃ行けないとなると、かなりマンパワーをとられると思うんですよ。そのへんで、どういう風にやりくりをしたらいいかというのが、なかなか難しいことがあると思うんですよ。そこがあまり学校、そちらのほうへ忙しくない、忙しくないときに出かけて行くというのが、どれだけできるかということが、かなり難しいと思うんですが、その辺はそれぞれの館の方の考えというのはどうなんでしょう。

会長

お手元の資料の中でも委員さんはこの会の中で過去からずーと長年後努力をいただいているところですが、受ける側もそうですが、お出かけくださる側ではいかがですか。今のお二方のご意見を参考にしながら。

事務局

全館の詳しい事情はわかりませんが、相対的な館の運営といえますか、年間を見てもみると、やっぱり非常に少ない、ぎりぎりの人数でやっていることは確かです。その中でもやはり、先ほども館長のほうからも話がありましたけれども、少しでもこのいい文化を皆様に享受できるのはどういう方法があるんだろうかということで、来ていただければ出かけて行く。という風なことの中で、館内の職員の協力を得ながら、できるだけのことやってるのが現状となっております。いろんなところで、本来なら博物館でありますので、館の中で、展示をしたり解説をしたりというのが一番いいんではありますけれども、やっぱりいろんなところでの問題とか、学校としてはバスの問題とか、複数クラスがあるところはこれないとか、前回もいろんなご意見が出たと思いますが、そういったところを少しでも調整がつくような形で、とって行

くということで、先生方には年間の行事予定等いろいろとご協力いただきまして、それと少しでも重ならないような形で、館の運営をやりながらやっておるところです。

心の旅路館のほうでは、学校のほうの行事予定で都合のいい日を選んでいただいて、いけるとところに設定して伺うという形ですので、うちとしてはもっとその機会を増やしていきたいなと思っています。

よろしいですか。本当に学校のほうで使っていただけてうれしいし、先ほどちょっと申しましたが、今日はファックスが入って山口小学校のほうから来てほしいというのがありました。山口小学校から中山道歴史資料館へ来ようとすると、バスも時間かかるし、行きかえりでもとんでもない時間がかかる。そういうところで、こちらから出かけて行って話すということが、資料館の仕事の一つだと思っています。さっきちょっと説明させていただきましたけれど、私が考える单元枠、この時期にこの辺のこれでやるといいというところを見ても、大体資料館で言いますと、秋が一番忙しい。だけどたとえば四つ目川の災害ですと、8月だから大体1学期に話があったり、前田青邨を扱うこととなると、修学旅行まえ5月6月ですね。5月は忙しいですけど5月の終わりから6月にかけては、お客さんがちょっと人がいなくなる時にいけます。冬の中山道とかそれから、和宮の話なんか冬ちょうどお客さんが来ないときには、うまいこと出ていけるようなことを繰り返しています。本当は人数がもっといて、私が出て行ってもということがあればいいのですが。それはなかなか難しいので、出て行く日を勘案しながら、出て行って伝えたいという気持ち出やっております。

会長

ありがとうございました。館の運営経営にも、それが主体ですが、それにもかかわりながらさらにその上で、学校のほうにお出かけいただく出前講座ということを中心に今ご意見をいただいているところですが、そのほかでも結構ですが、お願いします。

委員

5年前までここの臨時職員をやってて、そのときからここの博物館について思っていたんだけど、学芸員がすごく急がしそうで、というか。博物館の一つはここで研究して何かしていくという余力があると、いいと思うけど、なんかいつもパソコンのまえで文書作ったり、それで終わりのように見える。はたから見てるとそう思っていたんだけど。なんかもう少し、たとえば遠山史料館なんかで言うと、歴史の得意な方が見えていろんな活動をしてみえる。ここでいうとそういう人が一人になってしまうので、なかなか動ききれないところがあるんだけど。何か地域でそういうことのお得意な方を集めてでも、何かそういうような活動が今後できると、博物館としていろんな幅の広い活動ができていくような気がするのですが。的外れかも知れないが、どんなものでしょう。

会長

この議題録を見ていただきますと、特に各館等地域の方あるいはそれぞれの館の設置されたその背景も読み取れるぐらい、大変努力をいただいているところですが、さらにという意味で、今の委員さんのご意見についてですね、委員の方々あるいは館で運営されている方々のほうから、ご意見いただければありがたいですが。

事務局

それでは、委員のおっしゃられるところはあると思われます。博物館というのは人が主になって動いておると、人がその中でどれだけの専門性なり継続性なりが捉えられるか、というところが大きな問題だと思っております。今の中では、人数も少ない中で、みんなで協力しながらチームワークの中でやっておりますけれど、またそういう委員さんのご意見を伺いながら、今後の人的は補正とかも考えていかなければならないと思っております。また一般の方とか、地域の方というようなことでいいますと、私の展示室というのが年2回ほどやっておりますけれど、これは地域の方等が、自分のコレクションとか、研究いろんなものを通して、自然科学系、自然系のもを紹介をしていく。そのようなところで地域と繋がって行くところを持ちながら、現状をやっておるところです。それともう一つは、ここだけの問題ではないのですけれど、学芸員が文化振興課のところは何名かみえるというところで、そちらとも連携を取りながら、各館のほうでは助言を得ながらとか、一緒に企画展をやりながら、というような形で現状ではやっております。できればそういうところを強化していきたいと思っております。

会長

ありがとうございます。たとえば、お手元に鉱物博物館の3月12日からの企画展のご案内が届いていると思うんですが、これは具体的に、先ほどの委員さんからのご意見との兼ね合いのようなことがあるのかないのか。地域とは言い切れない部分もあるわけですが。

事務局

はい、先ほどの出前のことも含めてお話しますと、今年度熊本で地震が起きたということもありまして、鉱物博物館のほうにでもですね、中津川市内の阿寺断層という大きな活断層があるということもありまして、学校だけではなく、地域とか、公民館の高齢者大学とかから話をしてほしいということで、何度かかけています。学校のほうはですね、今日いらっしゃらないですが、若山先生のほうからご相談をいただきまして、二中のほうに一年生の地質、理科の地震の単元のところで話をしてほしいというところで、出かけました。ただ、さっき委員のほうからおっしゃっていただいたように、なるべく調整をしていける方向で調整をしてはいるんですけども、去年西小学校に出前授業という形で行って、今年もお話があったんですけども、学校のほうの都合と、私のほうの都合が結果的にはうまく折り合わなくて、先ほどらい努力しているという話がありましたけれど、西小学校については、今年は日程がうまく合わずに

結果的にはできなかった。ということと、3月12日のミュージアムレクチャーというのは、企画展ではなくてですね、1日の講演会なんですけれど、先ほど館長からご説明しましたように、名古屋大学博物館と相互協力に関する協定というのを今年の春結びまして、実際具体的に何ができるかということで、今回この講演会を開こうということが、一つ具体的な形になったということになります。内容はですね、コンクリーション、球状コンクリーションという言葉は、あまりなじみがないとはおもいますが。化石のお好きな方だとですね、化石を採取しにいったときに、よくそういったときはノジュールというんですけど、丸い塊になった石が出てくるんですが、これを割ると中から非常にきれいな化石が出てくる。これは化石を探す人にとっては、非常にいい化石があるだろうという、目印になるだろうというのですけれど、今までは漠然とこういうふうにできたんじゃないかと、というようなことを言われていましたが、実際のところはっきりとどういうふうにできるのかということは、よくわかってなかった。私自身も今まで言われていたでき方ってのは、どう考えても中に、化石が出てくるってのが、非常に不思議な感じがしたので、この研究を伺ったときに非常に面白いなと思ひまして、ぜひ紹介をしていただきたいということで、連携ということで、一緒になって資料を作ったりとかをしながら、やってきました。中学生ぐらいにわかるようにということをお願いをしていますので、聞いていただくと興味深い内容だと思います。お時間があればおいでいただきたいと思っています。

会長

ありがとうございました。委員さんたちからのご意見に基づきまして、今進めているところです。事務局のほうから、各館のほうからお話を伺いながら進めております。そのほかご意見ありましたら、どんなご意見でも結構ですのでお願いしたいですが。

委員

いいですか。さっきの流れで続きなんですけれど、先ほどのように学芸員さんがおっしゃられたように、ちょっと説明が入ると、がぜん興味がわいてくるという感じが、すごくそういう印象を受けたので、いろんなすべてにおいてそういうことが言えるんじゃないかな、というふうに感じてまして、私専門が美術のほうの大学ですけども、絵でもこれがこういうふうに素敵なんだよと、熱く語られる方がみえて始めて理解できる。ということが多いと思います。そういった意味でも学芸員の方々の活動はすごく重要だなというふうで、そういうものをいかにしてチラシや、宣伝、皆さんに伝えるときに、盛り込めるかということが、すごくポイントだと思ひまして、そういうところがすごく大事ななと感じたので発言させていただきました。

会長

自分もほうほうで、中津はもちろんですが、いろんなところの館へ訪問させていただいたときに、今のお話のように、説明していただけたことによって、

ここに来てよかったなと本当に思うことが良くあるわけですが、いかがでしょうか。そのほかの意見を含めて。

委員

せっかく中津川市に学芸員の方がみえます。いかにその方たちを利用して知らしめるか。あるいは、さきほどいった出前講座は特にそうだと思います。各館正直まっけていても、なかなか人はみえないかと思います。そしたらやっぱり、こなければどうするか、こなければ打って出なきゃあ、これ人が集まってきませんので、やはり大事な、小学生、中学生をこういった中津川市の中身を知っていただくには、もうどうしても出前講座をしていただくと、そしてそのときにやっぱり学芸員の方に同行願って、そういった事情をお話していただくと非常にわかりやすいかなと思います。私は中津川市の文化協会ですけれど、文化会館を委託で受けておるわけですが、2回ほど美術鑑賞をもうけまして、そのときにやはり、学芸員の方に美術の見方、そういったものを説明していただきました。一般の市民の方はよくわかっていただいて、まだもっとそういう機会があればやってくださいと、というようなご要望がありましたので、続けて行くつもりでありますけれど、小学生中学生もそのとおりだと思いますので、大人の力でもって子どもをうまくその館に呼び込むということをやっていたければと思います。

会長

続いてお二人からいい意見をいただいております。

委員

私も同じ意見が続いてしまうんですけど、私子どもが6年生で坂本に住んでいまして、前田青邨と法隆寺の金堂壁画というのが、出前講座で子どもが聞かしまして、家で私に話してくれました。私恥ずかしながら関係していることを知らなかったものですから、こういう歴史を子どもから聞いた状態でして、子どももやっぱり学芸員さんから言葉だけ出なくて、この関係、歴史とかも詳しく話されると思うので、すごく記憶に残ると思います。そして修学旅行で法隆寺に行って、自分が住んでいる中津川の前田青邨が法隆寺とかかわっているんだというのが、やっぱり自慢で、記憶に残ると思うので、こういう出前講座というのは、とても子供にとっていいことだと思って私もありがたいなと思って聞いていました。ありがとうございます。

会長

今のお話のように、館での取り組み、さらに出前講座を含め、専門の方、学芸員の方の話というのが、ほんとにありがたいというご意見だと思うのですが。そのほかいかがでしょうか。

委員

というと学芸員の方にはもう少し研究に携わってもらえるとたぶんいいと思うんですが、たとえばこの地域というか、独特な市の文化がありますので、本当はもっと新しいことに学芸員の方にがんばっていただければ、新しい知見

が出てくると思うんですけど、なかなかその人に説明をするとかだけで終わってしまうのではなく、もう少し自分で新しい研究になると思うんですけど、そういうことができる体制が、できれば本当は一番いいと思うんですけど。

会長

そうですね。ありがとうございました。

委員

学校のほうから打診があて出前授業に行かれるということなんですけれど、出前講座があるということをご存知で、活用されようとなさっているのかなと思って、どういう方法で各学校にはこういうことができますよって言うような宣伝をされているのかと思ってちょっとお尋ねしたい。

会長

その辺についてはいかがですか。

事務局

校長会のほうに資料をお渡しして、年度初めのときにもごあいさつとお願いに行き、ご希望のあるところは声かけくださいと周知活動を行っています。

私どもは、一番初めにやり始めたのは3年前なんですけれど、そのときはぜんぜん知らない方だったもので、全学校回りまして、こういう授業でということで、さっきも少しお話ししましたが、博物館こういう授業をやっているから、利用してくださいといっても、学校忙しいのでなかなか行かない。プリントを作りまして、この単元は3年生だったら何月、6年生だったらここ、4年生だったらここと示して、学校においてくるものもありますが、研究部会、うちの場合ですと社会でして、その先生方に、何かの機会に2重になるかもしれませんが、教育委員会の方にもおねがいして、複数の機会を持ちながら、ダブってもいいから伝えていっています。

会長

ありがとうございます。この開始が3時ということもあるし、夕方からの開始で申し訳ないところもありますが、そういった関係から、もっともっとご意見をいただくのが本意かもしれませんが、一番最後にまた時間を設けあいと思いますので、次のほうへ進めさせていただいてよろしいでしょうか。

平成28年度各館・合同事業にかかわってこれにて閉じさせていただきます。

会長：ありがとうございました。ただいま説明のありました平成29年度の各館の事業計画案について、先程の28年度の活動報告のところでもいただいたんですが、意見、お考えを含めてご意見あるいはご質問がありましたらお願いします。

委員：私は今年科学館の方に携わっていて、科学の方で考えたことがありまして、図書館が科学祭りをやりたいといって、図書館独自で南小を借りてやったんですよ。そういった事業があって相談がありました。それか

ら環境センターで科学の方の実験教室をやっておりまして、これまたその団体の方がやっておられるわけですけど、何か上手に連携できるといいなと思いながら、色々な団体が色々あるんだけど、今マンパワーが不足しているというお話もありましたが、ちょっとそこに連携して、一部のところのコーナーを借りて同じように教室開催だよというような格好にしていくのも一つの手かなと思いながら、その辺のうねりをどうしていったらいいのかなというのが私は結論が言えないんですが、知っている情報があったら私もお伝えし、結びつけることはこれからもやっていきたいと思います。また、事務局の方としてもですねそういった色々な動きが市のそれぞれの中であるわけですので情報を共有していただくとありがたいと思いました。

委員：委員のお話なんですけども、私も子ども科学館で工作教室をやらせてもらっているんですけども、テーマをどうするかということで、色々悩んでいるんですけども、中津川というのはちょっと特別なところなんですよ。色々調べているのですが、例えば富士通テンがありますよね。それから三菱電機、それから中津川工業高校、それから加子母に木工所があるんですよ。そこで独自に工作教室をやってるんですよ。それからトヨタ織機ですかね、やっぱり加子母で森の学校というのを開いています。そうやってさっき言われたように親子サイエンス教室ですか、そういうものもありますし、色々数えると十いくつが独自に開いているんですよ。そういうことを考えるとなかなかテーマをどうするか、またそういうことと連携いくと本当はいいんですけども、できればそういうことが可能ならやっていくと一番いいと思います。本当に色々なところで色々なものを開いていて、ソーラーカーですとか、中津工業高校だとリニアモーターカーですとか独自のものを作ってますし、そういうことを考えると子ども科学館のテーマを考えるのが難しいというのが現実としてひとつあります。

委員：やっぱりキャパシティ的にもそんなにたくさんの人数は対応でいないという現実があると思いますので、今の状況で、まとめたからたくさん呼べるというわけでもないと思うんですけど、ただ、ひとつ、子ども科学館からのチラシと鉱物博物館からのチラシとそれぞれ来ているものを、例えばホームページなどで一括で、この会で話し合われている博物館の時系列がパッと見でわかると、親の立場としては、今どこで何がやってる、じゃあ次はここでこれに参加できるんだってというようなことがわかりやすいんじゃないかなというように思います。

委員：今広報で各館のどういうことやっているかというのはあるんですよ。

会長：部長さん、先程「恵那山（博物館だより）」の話をされましたね。

部長：はい。

会長：家庭配布はわかったんですが、その他の所というのは置いてある場所は

あるんですかね。今のご意見は大事なことだと思いますので。

事務局：市内の施設には、一定数配っています。例えば公民館や図書館だとかそういったところには「恵那山」というのを 10部 20部という程度の数なんですけども、置いてあります。それから「恵那山」に関してはホームページの方でも公開はしていますので、なかなか現物が手に入らなければですね、ネットで見ていただくことができるようにはしてあります。

会長：例えばホームページを開いてどのくらい見られたかとか、他にもっと「恵那山」のようなものを設置する場所、道の駅を含めてですね、もっと外からのお客さんとの関係でこういった場所があるんじゃないかなといったことでのご意見もいただけるとありがたいと思います。とにかく多くの方に館で今何をやっているか、どんな館があるかということを含めて知っていただくといいかなあとと思います。今「恵那山」を配っていただいていますので、それを見てさらに今いただいているご意見を反映させていただければありがたいと思います。

会長：これは何部印刷しているんですか？

事務局：現状は 1800部です。先ほど次長から話がありましたように、今年度のところから回覧というのをさせていただくということで、それが今 2700~2800部あるということでその分を今年度からは増やすという形になっています。

委員：これは予定とかはだいぶ事前に各館揃うということですか？これを刷る時に揃うということですか？

事務局：そうですね。一応鉱物博物館の方で編集しているんですけども、だいたい 2か月ぐらい前までに各館に原稿を下さいということで、これに載せないといけないのでそれまでにはあやふやだった予定を確定しなくてはというところがあります。

委員：各学校に配られるチラシの裏に、統一の、順番通りの日付で予定が載っていると見やすいかなと。子どもがもってきてこれ行きたいあれ行きたいって結構言うんですけど、そうすると冷蔵庫にペタペタと貼って、その内剥がれてあれわからなくなっちゃって過ぎちゃったというのが結構多いので、学校の予定のように何月はどうだって並んでいるようだとすごく見やすくいいかなと思うんですけど。難しいでしょうか。

事務局：委員のおっしゃることはすぐわかります。これも各館で独自にやっておるわけですけど、タイミング的なものもありますし、どこで何をやるというのはなかなかすぐ決まるものと最初から予定のあるものと、直近に決まってくるものというものがありましてそれをひとつにまとめるとなると、情報量がどこまでになるのかなとか色々な問題もありまして、できれば本当にそういうところができるといいんですけども、たぶん学校でいきますと鉱物博物館と子ども科学館が主なものになると思

います。確かに中山道にしても遠山にしても東山にしても色々なものをやっておりますので、それはそれでちょっと対象が違ってくるころもあるのですが、子ども科学館との関係はちょっと検討させていただきまして、できればということなんですけども、まとめるのにも力が要りますので、確実にできるというお答えがここではできませんが、できるだけ書式をどういう風にするとか見やすくするとかという努力はさせていただきたいと思います。

会長：ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。

委員：先程から、各館で事業を構築されて、来ていただけないというところで出前講座をやられて対応されていると聞いているんですけども、今回の中山道歴史資料館の中の一般の方向けというところがあるんですけど、こういった方たちに対しては学生さんだったら学校さんを経由して伝えることはできると思うんですけども、一般の方たちに広く展開していかうと考えた時に、例えば市内の各所にこういう掲示物を展示するというところもあるんですけど、何か工夫されてることがあったら教えていただきたいんですけども。

事務局：ひとつは、中山道について知りたいというような観光の方たちにアピールしようと思うと、市の観光課の方を通じて商工会議所に働きかけて行って、一カ月に一度六斎市で宣伝をしていただいているのでこちらも直接話に行ったりしています。それからそれぞれ民間で作ってらっしゃる五宿の会というのがありまして、大井宿、中津川宿、妻籠宿などがあるんですけど、そういう方たちともそこへ行って話をしながらチラシを配ったり写真を見せたりしています。五宿の会は県の方も来て下さるので、そこも繋がってというのもひとつあります。あとは公民館とか図書館、中津川の公共施設があるのでそこへ行って話をしようということをやりますと伝えていきます。こういうことをいくつかやっておりますけども、まだこういうことがあればいいということがあれば、教えていただければそこへ行きたいと思っておりますけれども。

委員：中津川市の防災メールとか携帯を通じて案内を送るというのものもあるんですけども、そういったものでそういう情報をお伝えするというやり方もあると思うので、そういうものを活用していただけると。

会長：いい意見をいただいた中ですが、他にもっと言っておけばよかったなとか後で思われるよりは積極的に言っていた方がいいと思いますので、今の流れでなくても結構ですので、どんな意見でも結構ですので、あるいは今の意見にのっとっての意見でもいいですがあればありがたいです。

教育長：今いい意見をたくさんいただきました。ひとつはいかに知らせていかうという関係です。このことについてはやればできる、やらなければいけないと思っています。子ども科学館のたよりというのは学校を通じて

回してもらっています。ここのところに一部粹を作りながら集約していけばその都度その都度出すことはできるんじゃないかなと思ってますのでその辺はひとつ。これは子どもさんに伝わる方法だと思えます。それから先程の防災メールこれはイベント情報というのがちゃんと入ってくるのでそこに積極的に加えてもらうようなことをやっていくこと。これは文化スポーツ部の方でやらなければいけないことですよね。あとは最近特にマスコミで出てるのは中山道歴史資料館とかが直接新聞に出たりしてますけども、そういったものをうまく使いながら、取組をするときに報道にきちんと投げ込んで、来る来ないは報道の方の選択ですけども、来てもらって載せてもらえばそれだけでも違って来る。それから最近はSNSを使う手もあります。そういったところで色々な手立てはあると思うので、そこを積極的に進めていくのは必要で、ひとつ広報に関わる場所です。それから先程から山内委員さんが研究という部分のところをおっしゃってみえるんですけども、これについては西尾会長さんが今南小学校の学校日誌というのを一生懸命整理しておっくださるんです。これに関わって学校日誌がある程度まとまったところで、CDをつくって、研究者にもお配りしたんです。そうするとそれを研究している方たちが非常に参考になったと、助かったというところで更にそれを使いながら自分の研究を深めていっていただいているというのがあるんです。ということはどういうことかということ、館で研究することも必要なんだけども、研究者と繋がる、そういうことで研究を深めてもらうという手立てはあるなと。それで深めてもらった成果をこちらが吸収してさらに発展させるというようなそういう研究の発展の仕方もあるんじゃないかなということもふたつめには思っています。それから全体で繋がるということについては、にぎわいプラザの4階にはちょうど教育委員会と文化スポーツ部と商工観光部が入っていますので、そこと一緒にになりながら「わがまち中津川プロジェクト」なんていう風に商工観光部長がつけておりますけども、何かというと中津川には色々な観光スポットもあるし、文化スポットもあるし、それから独特の技を持つような企業さんもたくさんあると。それらのところのポイントポイントにバーコードを置きながら、そこでスマホをかざすと情報がわかる。その情報のわかりかたもどういう風にするかということと高校生も中学生も小学生も関わられるようなことができないかなと。つまり解説をつくることだけではなくて、例えば動画で解説してしまうとか、例えば中津高校さんは英語を一生懸命やってみえるので英語の解説を入れてみる。もっと進めば中国語の解説も入れてみるとかそんな風にして色々なところの情報がわかる。それがまた館につながるようにしていくと、できるんじゃないかなということで、色々な力が繋がるのが大事だし、打って出ることが大事だと思っているんですけども。そんなアイディアがあ

	<p>るんじゃないかなと思います。先ほども大変素晴らしい色々なところで科学に関する講座等もやられてる、それを全部情報収集して繋げてやればいいというところもあると思うんですね。こういう面白いことはここでやれるよ、こういうことはそこでやれるよというのを紹介するというのもいいんじゃないかなと思います。自分たちでできないところは、他でできるところは利用しちゃうというそういう手もあるんじゃないかなと色んなことを思ってます。</p> <p>会長：ありがとうございました。この会は、区切り区切りはあるわけですが、終わるわけではなくて、みなさんがたには大変長い間委員をやっていてくださる方が多いなあと先程から思いながら拝見させていただいてるところですが、これからも斯様にご意見をいただくということも今の教育長さんの繋げる繋がるというのと同じ次元ではないかなと思います。他にご意見ありますか。それではここで区切りをつけさせていただいてよろしいでしょうか。たいへん色んな角度から各方面からご意見をいただきました。ありがとうございました。事務局、各館で担当して努力いただいている方に励ましあるいはさらにこうするといいんじゃないかなという方向付けのご意見をいただいたと思っております。ありがたい意見をたくさんいただいたということでこれをもちまして平成28年度第2回中津川市博物館等協議会を閉じさせていただきます。よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> • 平成28年度各館の現状 • 平成29年度分かスポーツ部の方針と重点（案） • 平成29年度各館の事業計画（案）
管部課	中津川市鉱物博物館